

給食費を改定した場合の、副食費の1食単価に占める割合

副食(おかずやスープ等)の役割は、「栄養価率」を維持するため、栄養素等をバランスよく摂取する必要があり、給食費に占める比率が重要です。 ※目標 栄養価率の95%

「栄養価率」とは、提供される給食が児童・生徒の日常の栄養摂取基準をどの程度満たしているかを示す割合のことを指しており、子どもの健康と成長に重要な役割を果たしている。

○栄養価率の目安

- ・エネルギー(カロリー) 1日の摂取基準の 3分の1程度
- ・栄養素
(カルシウム、鉄分、ビタミンなど) 1日の必要量の 3分の1から半分程度

	小学校		中学校	
	現行	改定後	現行	改定後
月額	4,500円	5,200円(+700円)	5,000円	5,800円(+800円)
1食単価	247円	286円(+39円)	275円	319円(+44円)

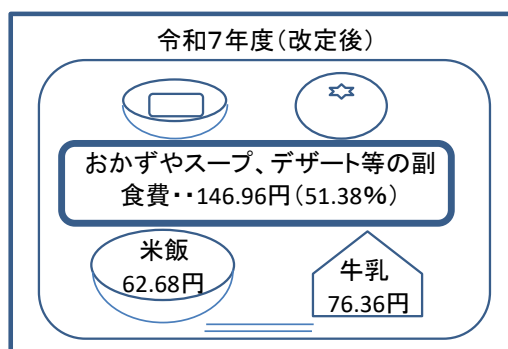
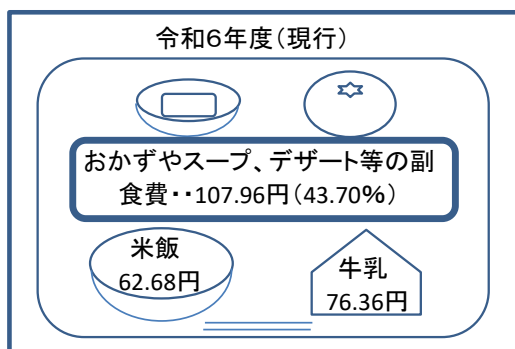
(小学校)

改定前 1食単価 247円

主食(米飯+牛乳) 139.04円
副食(おかず、スープ等) 107.96円
(副食比率 43.70%)

改定後 1食単価 286円

主食 139.04円
副食 146.96円 (+39円)
(副食比率 51.38% +7.68%)



※小学生は、米飯及び副食の摂取量が中学校より少ないため給食費の設定額が異なる。

(中学校)

改定前 1食単価 275円

主食(米飯+牛乳) 151.81円
副食(おかず、スープ等) 123.19円
(副食比率 44.79%)

改定後 1食単価 319円

主食 151.81円
副食 167.19円 (+44円)
(副食比率 52.41% +7.62%)

